



大宮小だより

【学校教育目標】自ら学び、心豊かで、しなやかに生きる子どもの育成

令和6年3月25日
大宮小学校通信 第17号
校長 加藤 真也

本日、3月25日(月)、修了式を行いました。修了式の「しゅう」は「終わり」ではなく、「修める」という字を使います。令和5年度の年間授業日数は201日(1年生は200日)、この1年間で、子どもたちは、新しいことをたくさん学び、心も身体も大きく成長しました。そんな子どもたちを心から誇りに思います。明日からの春休みでは、学んで「わかった」ことをいつでも「できる」ように繰り返し練習しましょう。そして、これからの生活の様々な場面で「できるようになったこと」を使っていきましょう。そして、4月1日には、新しい気持ちで一つ上の学年に進級し、頑張りましょう。

保護者・地域の皆様、本年度の本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。大宮小の子どもたちのために引き続き熱いご支援をいただきますようお願いいたします。

第21回卒業証書授与式 ～6年生10名の卒業をお祝いしました～

3月19日(火)、大宮小学校第21回卒業証書授与式を挙行了しました。卒業証書授与では、5・6年と2年間、学級担任を務めた西尾直人先生が呼名し、新しい中学校の制服を身にまとった10名の卒業生が一人ずつ赤絨毯を歩き、壇上に上がりました。どの卒業生も私(校長)としっかり眼差しを合わせ、凛とした表情で、小学校6年間の学びの証である卒業証書を受け取りました。堂々と素晴らしい態度でした。学校長式辞では、4月から中学生となる卒業生に実行してほしいこととして「自分の可能性を信じる」「やらなければならないことをやる」「自分も他人も大切に作る心で、考え、判断し、行動する」という三つを伝えました。式辞の後、大紀町教育長 北村吉洋様から告辞を、大紀町総務企画課参事 田中大輔様からご祝辞を、来賓としてご臨席をいただいた、大紀町議会議員 出口真吾様、村田英紀様、大紀町教育委員 宮原浩美様からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。そして、いよいよ



「別れの言葉」。向かい合った卒業生と在校生が、学校生活の思い出やこれまで支えてくださった多くの方々への感謝、これからの新たな学校生活での決意を呼びかけ合いました。会場の体育館はたいへん寒かったですが、心のこもった熱い思いが言葉となって響き合いました。

この卒業式を創り上げるため、準備段階からどの学年の子どもたちも一人一人の役割を自覚し、その責任をしっかりと果たしてくれました。特に最高学年のバトンを受け継ぐ5年生は、「別れの言葉」に加え、校歌のピアノ伴奏や進行、会場出入口の開閉など、たいへん緊張する役割を担い、それを乗り越えてくれました。大宮小学校の子どもたちの良き伝統が引き継がれていく姿を目の当たりにし、とても嬉しかったです。



年度末・始め 行事予定 ドキドキ・ズキズキ・ワクワクな一年に！

3月26日(火)～4月7日(日) 春休み

4月8日(月)着任式・一学期始業式 9日(火)入学式(開式9:00～) 10日(水)2～6年給食開始

11日(木)1年給食開始 19日(金)授業参観・PTA 総会・学級懇談会